

環境綱領

株式会社前田製作所は、建設機械・産業機械の製造・販売・レンタルをとおして、土木・建設業界を中心に、各種業界の機械化・省力化・安全化・廃棄物の再資源化に寄与している。

私たちは、「マエダ企業行動憲章」に基づきこれらの企業活動の各プロセスにおいて、環境にいろいろな負荷を与えていることを認識し、全社員・構成員の環境意識を高めて、環境汚染予防と省資源を図り、自然環境を保護すると共に、環境に有益な影響を与える製品の開発並びに環境関連商品の販売・レンタル事業をとおして、地球環境保全に貢献する企業を目指す。以上の目的を達成するために、中期的に以下の項目に取り組む。

記

1. 事業活動全般について、環境パフォーマンスを向上させるため環境マネジメントシステムによる継続的改善を推進し、環境負荷の低減を図る。
2. 環境関連の法規、規制、業界やその他の基準を順守する。
3. 地球温暖化防止のために、CO₂排出量の削減及び使用資源・使用エネルギーの削減に努める。
4. 地球環境保全のため、環境に有益な影響を与える事業活動を推進する。
5. 新規事業、新商品・製品開発の過程において、人と環境の調和を最優先する。
6. 環境への取り組み内容や成果をCSR報告書などを通じて、ステークホルダーに公表し、相互理解を深める。

2018年度環境方針

経済発展や技術開発により、人間の生活は物質的には豊かで便利なものとなった一方で、人類が豊かに生存し続けるための基盤となる地球環境は限界に達しつつあります。

私たちが直面する環境・経済・社会の課題に対して、経済が成長すれば労働コストは上がり公害も発生します。このような炭素投入量の増加を伴う経済から、イノベーション等による社会・経済の質的向上を通じた高付加価値化への転換が必要です。

そこで、2018年度は、私たち一人ひとりが本来業務改善を通じて効率化へ取り組み、環境負荷低減を図ります。

記

1. 環境関連の法規、規制、業界やその他の基準の情報をもれなく、早期に入手し、順守する。
2. 効率化への取り組みは、「有益な環境側面」と考え本来業務の改善を推進する。
3. 内部監査をレベルアップし、マネジメントシステムの統合度を深め、業務活動の「全体最適」を図る。

2018年 4月 1日

株式会社 前田製作所

代表取締役社長

塩入 正章